United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

平成２８年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２８年４月～平成２９年３月

１．学校概要

学校名　愛知教育大学附属名古屋小学校

種　別　□保育園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□中高一貫教育　□高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□特別支援学校　□その他（　　）

所在地　〒461－0047
愛知県名古屋市東区大幸南１－１２６

E-mail　ありません

Website　http://www.np.aichi-edu.ac.jp/

児童生徒数　男子　367　名　女子　365　名　合計　732　名
児童・生徒の年齢　6　歳～　12　歳

２．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
■　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
■　食育
□　伝統文化
□　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について

【５年　環境・世界遺産に関する総合学習】

①「地球にやさしい自動車・エコカー」

二酸化炭素を減らしたいという願いをもち、二酸化炭素を出さない電気自動車や燃料電池自動車についての調べ学習と、実際にそれらのエコカーに触れられる出前授業を行った。活動を通して、自動車の生産技術の向上が、環境問題の解決につながる可能性があることに気づくことが

できた。

②「守ろう　日本のたからもの」

世界自然遺産についての理解を深めようという願いをもち、日本の自然遺産について調べる活動に取り組んだ。調べた内容をポスターにまとめて、その魅力を伝えたり、守っていこうと呼びかけたりする活動を行った。

【食育】

本校が食に関する指導を通して目指す「『食の喜び』に気付き、感謝して食生活を営むことができる子」の育成に向け、「食べ物への感謝」「心身の健康」「生活の潤い」「社会性の獲得」という４観点ごとに、各学年の発達段階に応じた重点目標・全体計画・年間指導計画を作成し、学校全体で継続的に食に関する指導を進めた。

【環境委員会活動】

環境委員会では、環境をよくするために自分たちに何ができるのかを話し合い、計画をして活動を進めた。「清潔で心に花咲く附小生活　環境委員がつくります」のスローガンのもと、構内のあまり清掃が行き届いていないところをきれいにしたり、清掃時間のごみ回収を行ったりした。また、「環境や他の国の人々にとっていいことをすれば、みんなの心にも花が咲くのではないか」ということで、インターネットで自分たちにできそうな取り組みを探し、ペットボトルキャップと書き損じはがきの回収を企画した。　ペットボトルキャップは４５Ｌの袋に１５袋分、書き損じはがきは８０枚回収することができ、子どもたちからは、「自分たちの呼びかけで、これだけ集めることができて、環境のためによいことができてうれしい。」「これからも、自分の周りや地球の環境のことを考えて過ごしていきたい」という感想が聞かれた。

（２）活動時間について

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）